

時 時間 所 場所 内 内容詳細 費 費用 定 定員 申 申し込み方法 プレ プレイガイド 縮 締め切り 分 分野 対 対象 金 金額 問 問い合わせ・連絡先

告知 わたしを大切にするための
支援者養成・支援者支援講座2024



困難な問題を抱える女性への支援。その現場を知り、知識を深めませんか? ①10/6(日)②10/27(日)③11/23(土祝) ④まちなかキャンパス長岡301会議室 ⑤居場所作りの大切さ、女性支援など※各回異なります ⑥無料 ⑦①②30名③50名

⑧ NPO 法人女のスペース・ながおか ☎0258-38-0457

告知 かきがわひらさ



柿川のほりを歩いてめぐってお散歩マーケット。個性豊かな参加拠点にハンドメイド雑貨やアクセサリー、おいしいフードやドリンク、体験型のワークショップなどたくさんのお店がオープン。 ①10/20(日)10-16時 ②シェアスペース

ひらく、KAKIGAWA LIVING PARK など

告知 古典茶花セミナー



「茶花」の魅力に触れてみませんか? 茶花の歴史や二十四節ごとにふさわしい活け方を、実技を交えて学ぶことができます。

③10/23(水)9時45分～15時(お昼休み有) ④ながおか市民協働センター第1・2協働ルーム ⑤7,000円(花代含む) ⑥古典茶花の会 ☎090-1463-0818(島田)

告知 WAKUWAKU 異業種交流会



⑦10/26(土)15時30分～19時30分 ⑧ミライエ長岡5F(スタジオAB) ⑨第1部:特別講演(堀敏彦氏)、第2部:若者夢語り、第3部:交流会&SNS交流会 ⑩第1+2部2,000円、第3部3,000円※飲食提供有 ⑪事前申込制 ⑫いがた異業種交流会 WAKU-WAKU ☎070-8984-4466(小川)

告知 越後みしま 竹あかり街道



長岡造形大学やボランティア協力のもと、里山から切り出して作られた竹灯籠。三島・脇野町の風情ある佇まいがロウソクの灯りに照らし出されます。 ⑬10/26(土) ⑭脇野町本町通り ⑮16時～竹灯籠点灯式、21時消灯 ⑯三島ライトアップ

実行委員会 ☎080-6054-1929 (遠藤)

告知 NPO 訪問バスツアー



「いがたNPOカレッジ2024」の新企画。市民活動を行うリアルな現場を見学するスタディツアー。 ⑰11/6(水)13-18時 ⑱新潟駅南口ジュンク堂書店前集合 ⑲新潟で活動する3つのNPO法人を訪問 ⑳先着20名 ㉑WEBサイト予約

フォームから申込み ㉒NPO協会 ☎025-280-8750

告知 不登校・引きこもり支援のための
ブリーフセラピー入門



関係性に注目して解決を目指すブリーフセラピーのノウハウを学びます。 ⑳12/8(日)13時30分～16時30分 ㉑中央図書館講堂(2F) ㉒講師/久持修氏(やまき心理臨床オフィス代表、日本ブリーフサイコセラピー学会前会長、臨床心理士・公認心理師)による講演など ㉓3,000円 ㉔50人

㉕11/30(土)(または定員になり次第締め切り) ㉖長岡楽しく学ぶ会 ☎090-1531-1294(五十嵐)

募集 環境市民活動助成



地域の環境問題を地域の市民が主体的に解決するために、さまざまな角度から支援。【活動助成】市民が主体となって行う環境活動を1年間支援、他【未来へつなごう助成】【地域美化助成】【NPO基盤強化助成】 Web申請システムに団体情報を登録後、「申請書」を提出

⑳10/31(木) ㉑一般財団法人セブン-イレブン記念財団

募集 子どもゆめ基金



子どもの体験活動・読書活動への助成。 ㉒国や民間からの寄付金などを財源とし、子どもの健全育成の支援をする基金 ㉓当該団体が自ら主催し、子どもの体験活動や読書活動の振興に取り組む団体 ㉔2万円以上限度額まで(募集時期によって異なる) ㉕一次募集

11/9(土) ㉖子どもゆめ基金 ☎03-5790-8117

センターからのおしらせ | 長岡市未来を創る 市民活動応援補助金

長岡市の今と未来を考え、その実現に向けて市民団体などが主体的に取り組む公益的な事業にかかる経費の一部を補助する「長岡市未来を創る市民活動応援補助金(未来共創補助金)」の申請を受け付けています。やってみたい企画のある方は、構想段階からご相談に乗りますので、まずは協働センターにご連絡ください。

申請方法	事業実施の3ヵ月以上前を目安に協働センターに相談にお越しください。
補助金額 (補助対象経費について)	10万円まで:全額 10万円を超える部分(上限50万円):80%
申請期限	事業実施の3ヵ月前の月の20日

詳しくはこちら



発行 **カカ** **カカ** **カカ** ながおか市民協働センター

〒940-0062 長岡市大手通 1-4-10 シティホールプラザオーレ長岡 西棟 3 階
TEL: 0258-39-2020 Mail: contact@nagaokakyodo.net



毎週月曜17時頃からは「つなラジ」FMながおか(80.7MHz)でオンエアしているながおか市民活動紹介番組「つなごうラジオ」第5号曜日を除く、約10分間をお楽しみに♪

本誌に掲載の方々はコンテンツで動画を配信中!

配布場所 長岡市役所及び各支所、サービスセンターの他、市内図書館、コミセン、子育ての駅など公共施設に設置しています。



ながおか市民協働センター

“もしも”に備えて
日々の協働を大切に!

take free

2024
10
October
VOL.142

racotte

活動ピックアップ!

nagaoka

長岡
地域



防災を日常に馴染ませ

“いつも通り”でいられるように



副代表理事
佐竹 直子さん

理事
山岸 麻美さん

NPO 法人多世代交流館
になニーナ

中越地震をきっかけに活動を始め、「いつも、いつも通りの場であること」を念頭に、子育ての駅ぐんぐんの運営などを行っています。能登半島地震の際も、不安な気持ちの子どもたちがいつもどおり遊べる場を用意するため、市内で唯一、震災翌日に臨時開館を決めました。今後も防災を特別扱わず、もっと日常の中で取り入れられるように子育て世代に伝えたり、有事の際にも安心して集まれる場づくりを引き続き行っていきます。

長岡 | みんなのSDGs



“長岡モデル”の
防災監視システムを世界へ



株式会社 イートラスト

代表取締役社長
酒井 龍市さん

電気・情報通信のインフラ整備に取り組み、公共事業の分野での社会貢献を目指しています。長岡に住む人々の暮らしを守りたいと開発した河川監視カメラは、既存の通信網を使いリアルタイム画像を配信する防災システムです。安価でシンプルな構造へと性能を進化させたことで、国や新潟県から“長岡モデル”として評価され、水害に悩む東南アジアや南米の国々でも導入されるようになりました。これからは安心して暮らせる社会の一翼を担ってまいります。

「あの日」に体験した辛さ、支援への恩返しが活動の原点

石黒 みち子さん
中越市民防災安全士会女性部
シュークリーム 副部長兼事務局長

Ishiguro Michiko
防災士のほか、民生委員、聴覚障がい者の通訳サポートなど、地域防災や社会福祉の活動に精力的に取り組んでいる。



中

越市民防災安全士会 女性部 シュークリーム」で副部長兼事務局長を務める石黒みち子さん。長岡市を中心に、防災グッズづくりなどの防災講習会をはじめ、防災意識や知識・技術の向上につながる啓発活動を行っています。

「家族からは半ば呆れられていますが、被災地の厳しい状況や困っている人を見るとほっとけないですね。」

防災士として多忙な日々を送る石黒さんは、被災地へのボランティアにも積極的に参加。能登半島地震でも現地入りして、被災者支援を行っています。

鬼怒川決壊や熊本地震被災地の支援で、不自由なことに直面しつつも声に出せず辛い避難所生活を我慢している方々を見聞きしたことがきっかけとなり、特に女性やお年寄り、疾患のある方などに寄り添った『心の支援』を心がけています。「元氣そうに見えても、心には深い傷を負っています。やりとりを重ねることで、辛い心を打ち明けてくれます。」石黒さん自身も中越大震災の時に、当時住んでいた小千谷市で被災。地震への恐怖と家屋の被害で、一時はパニック状態になりました。避難所もプライバシーが保てる状態ではなく、一日の大半を車の中で過ごしていたそうです。



市民活動フェスタなど様々なイベントに参加してバッククッキングを紹介しています。

「不自由な生活に心身ともに疲弊していたころ、群馬に住む友人にお風呂に入りたくてこぼしたら、その後すぐに『水上温泉の源泉水とそれを運ぶための大型のタンクローリーを手配した』と連絡がありました。」友人の行動力に驚きながらも、自治体と交渉を開始。各所と調整するなど受け入れに奔走した結果、自衛隊をはじめ様々な人たちの尽力もあり、避難所に即席の温泉風呂を作ることができました。「あの時のお湯の温かさは一生忘れられないですね。」

震災を経験して、万が一の時に

助け合える町内会や地域住民とのコミュニケーション不足や自然災害の知識や技術不足を痛感したという石黒さん。「もしも」の時に苦しむ人を少なくできるように、体験談や防災知識・技術を伝えていきたいと話します。活動を続けていくために、「もしも」の時にすぐに駆けつけられるように、仲間と共有している合言葉は無理せず「できることを、できる時に、できる範囲で」。そして、自分自身が健康であることも大切にしています。

救命講習を通して、子どもたちにも命を守ることの大切さを伝えていきます。



自分の住む地域の特徴や災害リスクを知ること、地域の中に知り合いや気軽に話せる人などの関係を築いておくことが、いざというときに身を守ることもつながります。「もしも」に備えて、今自分ができるところから、やっておくことを考えてみませんか？

活動の根っこ

NAGAOKA PLAYERS

地域に
よりそった活動を
石黒みち子

新しく活動分野を広げるために補助金を活用

事業名	不登校、行きしぶり親子の会
実施日	2023年6月25日／9月25日 2024年1月31日／3月4日
場所	さいわいプラザ
団体名	ひだまりハウス
補助額	100,000円（総事業費 129,655円）
使途	講師謝金、広報PR費



参加者が講座で「共通のことば」を得ることで、のちの座談会がより充実します。

- 障がい児のお子さんを持つ家族の会として2018年に活動をはじめたひだまりハウス。定期開催する座談会で聞かれた悩みの声に応える形で活動を広げてきました。
- コロナ禍以降に会員以外からも相談がくるようになり、支援のニーズを実感した不登校や行きしぶりについての部会を設けることにしました。
- 新たな事業は、障がい児の家族よりも対象が広がりますが、「同じ悩みを持つ人達が横のつながりをつくることのできる場づくり」という解決策は同じ。培ってきたノウハウを活かし「講座」と「座談会」をセットにした学びとつながりの場を4回設けました。
- 新たな層とつながったことで、運営に関わりたいと手を挙げてくれる人も！仲間が増えたことも補助事業の大きな成果です。

長岡市未来を創る
市民活動応援補助金

補助金事例紹介

令和6年度申請受付中

12月実施事業の申請締切は9/20
申請の際は、事前に協働センターにご相談ください。詳しくはこちら↓

過去の補助事業も自立運営
している団体。新分野でも
ぜひ頑張ってください！



審査員



刺さるでござる！

今月の伝授テーマは

楽しみづくりを、いざという時の備えに！

市民活動 | 虎の巻 |

〈虎の巻〉を
動画で
解説中→



Q

防災や防犯・見守り活動などは、必要だと思っていながらも、日頃から活動に参加してもらうのはなかなか難しいもの。なにか良い方法はあるのでしょうか？

A

やったほうが良いのはわかっているけれど、つい腰が重くなりがち活動は多くあります。防災訓練に人が集まらないというのもその一つ。そんな時には、別の活動を通じて本来の目的を達成することができないかを考えてみましょう。



有志で出している屋台の様子。

私の住む地域では、年に2回のお祭り（神事）と地域イベントの計3回、地元有志が屋台を出しています。

「地域みんなが楽しむ場をつくりたい」と、焼きそばや豚汁、焼き鳥などの食べ物から、射的や輪投げなどのゲームを用意。テント立てや会場設営、多数のメニューをそれぞれ100食以上用意するといった作業をメンバーが見事なチームワークでこなしていきます。「この地域は災害があっても安心ですね。年3回も炊き出し訓練しているんですから」と地域の人にとくと「そんなこと考えたことなかったけど、確かに！」とっていました。越路の神谷地区では秋の収穫祭で、餅や豚汁を振る舞っているのですが、これは「防災訓練」の一環として位置づけているそうです。

このように、楽しみづくりの活動の中にいざという時の備えにつながる要素を取り入れることは、意外と難しくありません。皆さんもいま人が集まっている活動の中に別の価値を見出すことができないかを考えてみてはいかがでしょうか。（ながおか市民協働センター 唐澤頼充）